

<医療部長ピーター・ホワイト少佐の2021年5月2日(日)のメッセージ>

イースターのお祝いの気持ちをまだわたしたちは持ち続けるべきではないかと思います。なぜなら、イエス様の十字架はただ一度の出来事でしたが、十字架と復活がもたらした勝利は永続的なものであるからです。それによって、わたしたちは大きな救いを受けることができました。神がイエスを通して与えてくださった救いの賜物は、わたしたちに永遠の命を約束しています。さて、今日読んだヨハネの手紙一3章は、わたしたちが救われたあと、どのように生きたらよいかをチェックする指針となります。神の愛が自分の人生にほんとうに働いているかどうか、どうやったら知ることができるでしょう？ イエスは進んでご自分の命をわたしたちのために捨ててくださいました。それと同じように、わたしたちも自分の愛する者のために進んで命を捨てるように聖書は勧めています。みなさんは周囲の人に比べて豊かにされている点があるでしょうか？ 神様があなたに霊的、物質的な豊かさを与えてくださっているとすれば、それは、あなたが豊かさを兄弟姉妹と分かち合って生きるためなのです。愛は言葉で発して終わるものではなく、実際の行動に移していく必要があります。わたしたちの行動を通して初めて人々は神の愛が本当に生きて働いていることを認識できるのです。神を知らない人々を愛するのは難しいことですが、神が助けてくださるならば、愛して行くことは可能です。わたしたちの心が神の愛で満たされるとき、わたしたちは神の愛を他の人々に分かち合っていくことが出来るのです。「証拠」という概念がありますが、わたしたちが属している教会は、単に良い人たちの集まりという以上の意味があります。それは、信仰者の集まりなのです。そして、神を信じる者たちが裏表のない生活をすることによって、神の愛を「証拠」として示して行くことが出来るのです。それが出来るためには、わたしたちの心と思いと行いがいつもイエス・キリストを中心としている必要があります。あなたは神様から何かをするように内なる促しを受けていないでしょうか？ 神が持つておられる聖なる計画に従って歩むようにと、神様はわたしたちにチャレンジを与えてくださいます。それに応えるとは、ある人にとっては救世軍の士官（伝道者）になることであるかもしれませんし、ある人にとっては小隊の下士官（役員）として奉仕することであるかもしれません。わたしたちが神の愛に満たされる時、神のわざを行う力が与えられます。神の御子であるイエス・キリストの御名を信じましょう。わたしたちはルールや規則によって生きる者ではなく、生ける神の子キリストの犠牲によって生かされ、その復活によって生かされ、すでに死に打ち勝ち、永遠に生きる者と変えられているのです。神が与えてくださった戒めとは、イエスがわたしたちを愛してくださったように、わたしたちも兄弟姉妹を愛し、近隣の人々を愛し、国を愛して行くことです。わたしたちが聖霊を通して人々を愛していくときに、神の愛は証拠立てられ、人々はほんとうに神の愛に触れることができるのです。